

五島中央病院広報誌

五病だより～絆～

No.48



退任のご挨拶

2020年3月31日で五島中央病院の院長職を辞することを最初に報告させていただきます。五島中央病院には2014年の10月に院長として赴任させていただきました。今回は2回目の五島中央病院での勤務となりました。神田哲郎前院長が総院長として6か月残っていただき、引継ぎを含めた指導を受けましたので、安心して院長業務を開始出来たことには感謝しています。それから5年半の間に五島中央病院や五島市の為に何か貢献できたことがあるのかなと自問しています。



2014年度までは五島中央病院の経営収支は黒字で安定していましたが、その後五島市の人口減少、少子化、高齢化の影響もあり、入院患者数の減少に伴い経営状況は悪化してきましたが、2019年度になってやっと、入院患者数が増加し、経営状況が改善してきました。これは五島市民の皆様の五島中央病院に対する愛情と、病院職員一人一人の頑張りの賜物であり、感謝しております。

院長としての5年6か月の間の思い出として残っているのは、院内保育所と独身寮C棟の完成式と思います。働き方改革が今日本で大きな問題として議論されています。働き方の改革の前にすべきことが院内環境の整備であり、乳・幼児を抱えた職員にとって働きやすいように職場環境を整えることを目標にし、このことが私の院長任期中にできたことが私の誇りだと考えています。

最近五島中央病院で若い職員が多いと思われた方はおられません。当院の初期研修医は、2018年に2名、2019年に1名が入職し、2020年4月3名の初期研修医の研修開始が予定されています。看護師も若返りが少しずつ進んでおり、2020年4月には15名の新人看護師に働いていただく予定になっています。若い職員の増加に伴い、病院に活気がでてまいりました。新人さんは病院での仕事に慣れるまでは時間が必要です。住民の皆様や先輩職員の皆様の温かい支援が必要ですので宜しくお願いします。

今年の今後も五島中央病院は奉仕の精神を忘れず頑張っていきたいと思います。

今までお世話になりました。

村瀬 邦彦



五島中央病院 ニュース

お知らせ

内科外来も電子カルテも変わりました

五島特有の強い季節風が吹く日はあったものの、今年は比較的暖冬でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。当院では昨年の12月半ばから、内科一般外来の再来（旧患）診察に看護師や看護助手の介助が無くなりました。多くの看護師が産休育休で休職したり、一身上の理由で退職したりと、外来看護師の人数が減ってしまったためです。そのため診察時間が長くなり、待ち時間が長くなることも多いと思います。大変申し訳ございません。外来患者さんの数も飽和状態ですので、病状が安定している場合には、市内の開業医さんや他の病院をご紹介します、そちらでかかりつけ医として診てもらうようお願いすることもあると思います。ご協力いただければ幸いです。

そして、電子カルテの変更が3月1日から行われています。外来診察室への呼び込みも、診察案内表示板に受付番号を表示する方法に変わっています。病院業務を効率的にするための変更ですが、変更当初は混乱も生じると思います。患者様にはできる限りご迷惑をおかけしないように、病院全体で努力いたします。

これからもいろいろと病院運営の変更があると思いますが、主なものはこの五島中央病院ニュースでお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

医療局長兼地域医療連携部長 福嶋 伸良

かかりつけ医紹介

いけだ内科 様

いけだ内科院長の池田秀樹と申します。五島中央病院には2009年から6年間、呼吸器内科医として勤務しておりました。2016年に開業してから、本当に大変お世話になっております。今回はこの場をかりて当院についてご紹介したいと思います。

当院では、喘息、COPD、呼吸器感染症、睡眠時無呼吸症候群（SAS）などの呼吸器疾患を中心として、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、頭痛、腹痛、便秘、膀胱炎など内科疾患につきましても幅広く診察しております。呼吸器疾患に関しては、的確な診断治療を心がけており、呼吸機能検査、胸部X線検査の他、インフルエンザや溶連菌など、感染症の迅速診断キットも多く取り入れております。1年程前からは呼気一酸化窒素測定器（呼気NO）を導入し、これによって喘息の診断が比較的容易になりました。SASにつきましては、当院で簡易検査を行い、精査が必要な際には睡眠外来がある長崎市内の病院を紹介しています。その精査の結果は、あじさいネットを通して、五島にいながら遠隔で説明を受けることも可能です。



ほかに当院では、漢方診療を行っております。勤務医時代から、患者さんの中には西洋医学的には異常がなく対応が難しいことがあることをよく経験しておりましたが、開業にあたり漢方を取り入れたいと考えて、5年前より東洋医学会の研修施設になっている佐賀市の病院にて勉強しております。めまい、腹痛、動悸、アトピー性皮膚炎等多くの患者さんから喜ばれていますが、効果がない場合もあり、まだまだ研鑽が必要だと考えております。

当院が地域医療に少しでも貢献できればと考えております。



診療内容

呼吸器内科は肺炎や肺癌だけでなく、様々な肺の病気の診療を行います。その症状は、発熱や咳、痰など風邪と変わらないものも多いです。外来ではそのような肺の病気が疑われる方々がかかりつけ医から紹介されることも多く、肺全般の病気の診療を行っております。



診断のために気管支鏡検査などを行い、検査結果によって治療を行います。手術などが必要な場合は大学病院などの高次医療機関へもすぐに紹介できるように体制も整っております。

呼吸器内科より

現代は医療の発展により日本人の平均寿命が延びておりますが、日本人の二人に一人が癌になるといわれる時代で、日本人の死因の一位は癌となっております。年間約8万人が肺癌になり、うち7万人が死亡するとされており、肺癌は癌の中でも死亡数が多い病気です。



呼吸器内科：時任（ときとう）先生

また、肺炎は特に高齢の方など免疫力の低下がある方に多く発症しますが、こちらも死因の5位となっており、肺の病気は日本人の死因の上位の位置しております。

いずれの病気も喫煙との関連は大きく、特に肺癌の原因の70%は喫煙と言われております。私たち呼吸器内科医はこれらの病気を治療することはもちろんのこと、その予防や注意喚起を行うことも重要な仕事です。健康診断を積極的に受診していただくように呼びかけ、喫煙されている方には喫煙による人体への悪影響などをきちんとお伝えし、禁煙を促すように努めております。また、65歳以上の方々は肺炎球菌ワクチンの接種も行うことができます。高齢化社会と言われる日本においても、五島列島は特に高齢化率が高い地域です。だからこそ予防できる病気はきちんと予防



し、病気を早期発見できるように地域の病院とも連携を取り、医療体制を整えておくことが私たちの重要な仕事だと思っております。

肺炎球菌ワクチンについて

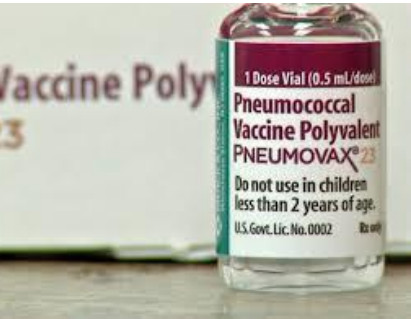
平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。それぞれの年度で65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方々が対象となります（定期接種の場合、五島市では3,000円の負担で接種可能です）。詳細な対象者や内容は厚生労働省のホームページを参照ください。

当院でも対象者に肺炎球菌ワクチン接種を行っておりますが、五島市のワクチン接種対象者の約15%程度であり、全国の自治体と比較して、とても低いことがわかっています。高齢者の人口が多い五島の住民の健康維持には肺炎予防はとても重要なことといえます。

肺炎球菌ワクチンはインフルエンザワクチンと併用すると、より効果が高いとされており、あわせて接種をおすすめします。肺炎にかかることを完全に予防することはできませんが、命に関わる肺炎の重症化を予防できるため、特にご高齢の方々は接種をお勧めします。肺炎球菌ワクチンのご案内が届きましたら、是非、接種することを心がけてください。



呼吸器内科：大島先生



災害対策訓練



2019年9月18日に、五島市消防本部様、五島高校様、長崎大学病院様からご協力いただき、多数傷病者受け入れを想定した災害対策訓練を行いました。関係者の皆様、ありがとうございました。当院は下五島地区の災害拠点病院ですので、有事の際に市民の皆様を救えるように定期的に訓練を行っております。

分娩料改定のお知らせ

項目	令和2年3月31日までの料金	令和2年4月1日以降の料金
分娩料（時間内）	190,000円	240,000円
分娩料（時間外）	220,000円	270,000円
分娩料（休日・深夜）	250,000円	300,000円
帝王切開時分娩介助料	100,000円	150,000円

※上記以外に、入院料、食事代、自費等の料金が別途発生します。

令和2年4月1日以降にご出産される場合の分娩料について、上記のとおり改定しますのでお知らせ致します。今後も引き続き周産期医療の充実に向けて取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



栄養科だより

令和2年2月号 五島中央病院 栄養科



栄養科では、患者さんの病態に応じた食事の提供と栄養管理に努めるとともに、食事が入院中の楽しみの一つとなり、少しでも季節を感じていただく工夫をしています。今回は、その一部をご紹介します。※治療の関係で、食事制限があり提供できない場合もあります。ご了承ください。

行事食の紹介

土用丑の日



お正月



開院記念日



出産祝い膳

～お知らせ～

毎日の食事で困っていることは、ありませんか？

減塩した方がいいんだけど…
誤嚥が心配…



糖尿病と診断されたけど…

当院では、栄養指導を行っています。
食事や栄養に関する不安や疑問などに、
管理栄養士が分かりやすくお話をさせていただきます！
ご希望の方は、主治医へ申し出ていただき、
ご予約下さい。



トピックス『塩分のおはなし』

食塩の摂取量が多いと、高血圧など
様々な生活習慣病を招く恐れがありま
す。食事の際は、塩分の取り過ぎに注
意が必要です。



厚生労働省からの
生活習慣病予防を目的とした目標値は、
男性8g、女性7gとナトリウム（食塩
相当量）について、高血圧予防の観点か
ら、男女とも値を低めになっています。



塩分のとりすぎチェック！！

- ☐ 梅干しや漬物類、ご飯にふりかけをかける
- ☐ 混ぜご飯など味付けご飯をよく食べる
- ☐ 汁物を毎食食べる。
または、うどんなどの汁を全部飲む
- ☐ 醤油やソースなど調味料をよくかける
- ☐ スナック菓子をよく食べる
- ☐ 野菜や果物が苦手



※野菜に含まれるカリウムや食物繊維は、体内の余分な食塩を外に出す効果があります。



目標量を目指して少しずつ
減らしましょう！塩分測定
器を使ってみるのもよいで
すよ。



食品に含まれる塩分量

みそ汁(1杯) 約1.5g	インスタント スープ (1袋) 約1.2g	きゅうりのぬかみそ漬け (5切れ) 約1.6g	梅干し(1つ) 約2.2g
ちくわ・中(1本) 約0.7g	あじの開き(1尾) 約1.4g	塩鮭・中辛(1切れ) 約1.1g	堅焼きせんべい ・大(2枚) 約1.0g

調味料に含まれる塩分量

濃まり しょう油 0.8g	薄口 しょう油 1.0g	濃口 しょう油 0.9g	豆みそ 0.7g	甘みそ (西京みそ) 0.4g	麦みそ 0.6g
マヨネーズ 0.1g	トマト ケチャップ 0.2g	ウスター ソース 0.5g	中濃 ソース 0.4g	オイスター ソース 0.7g	豆板醤 1.1g

平成から令和になった2年間、五島中央病院にお世話になりました。

赴任した時に山岡荘八の徳川家康前26巻を読もうと思っていましたが、五島が世界遺産に登録されたことで、五島列島の注目は日に日にまし、我が家への来客は2年間で延べ80名にのびりました。毎週のように、大瀬崎灯台をはじめ100キロコースを案内しました。来島したお客は、誰もが食べ物と自然と歴史に感動して帰りました。残念ながら家康も理解することなく、大半は持ち帰ることとなってしまいました。他にもバラモンキング、夕焼けマラソンや福江祭、チャンココ、ヘトマト、柗島と奈留島の大祭等いろいろな行事を見学し、黒島以外の二次離島へも上陸することができました。

五島市が繁栄するには、人口が増え教育福祉が充実し、病院が住民の健康を守る砦とならなくてはなりません。医師不足・看護師不足・薬剤師をはじめコメディカル不足のため、医療内容を縮小することなく存続するために、こつこつと出来ることから始めて、医療を充実させて頂きたいと思います。2年間ではまだまだ何もしえてはいませんが、職員の皆様に希望の種が育つことを記念して挨拶と致します。

心残りは、病院の正面玄関の自動扉の完成を見る事が出来なかったことです。いつか必ず、大好きな五島へ完成した玄関を見に参ります。



永年在職職員表彰式

もの忘れ外来 開設のお知らせ



2019年12月27日に永年在職職員表彰式を行いました。勤続20年になる皆様大変お疲れ様です。そしてこれからも当院の運営および五島の医療を支えるためよろしくお願いします。写真左から、薬局：橋本さん、総務係：泉さん、看護部：川上さん、看護部：谷川さんです。顔ぶれからしても皆様大変重要な役割を担っている方々ですので、ぜひ、定年退職まで頑張ってくださいと思います。

以下のような症状が気になる方は、一度、もの忘れ外来を受診されることをお勧めします

- 何度も同じことを言ったり、尋ねたりする
- 人や物の名前が出てこなくなった
- 慣れている場所で道に迷った
- 日付や曜日が分からない
- イライラして怒りっぽくなった
- 食事を食べたことを忘れている

当院では、画像検査や鑑別診断ができます。お気軽にご相談下さい。

- ・ ご予約：72-3181 地域連携室まで
- ・ 診察日時：毎週木曜14:00～15:30
- ・ 場所：五島中央病院 総合診療科

五島中央病院 外来等診療担当表

令和2年4月1日現在

科	曜日		月	火	水	木	金
	区	分					
内科	総合診療科		院長	前田 隆浩	野中 文陽 (糖尿病外来)	延末 謙一 (第1.3.5) 永田 康浩 (第2.4 9:30~)	
	新 患		深堀 正美 (循環器)	伊藤 裕也 (呼吸器)	今西 大介 (血液)	山本 浩之 (消化器)	福岡・上条 (肝臓・消化器) (腎臓)
	旧 患	1 診	時任 高諄	今西 大介	深堀 正美	時任 高諄	今西 大介
		2 診	福岡 伸良	近藤 俊介	伊藤 裕也	北川 瑞希	山本 浩之
		3 診	吉田 尚広	上条 将史	吉田 尚広	上条 将史	深堀 正美
		4 診		リウマチ			伊藤 裕也
		7 診					上条 将史
	午 前	処方・予約外	近藤/北川	長置/上条れ(時任)	長置(宮崎)/(酒井)	上条れ(吉田)	酒井(上条れ)
		人間ドック	上条 玲奈	長置/上条れ	時任 高諄	今西/酒井	吉田 尚広
		内 視 鏡	長置・山本	山本・北川	近藤・北川	長置・近藤	近藤・北川
		透 視				放(長置 健司)	
		腹部エコー				福岡 伸良	
	午 後	心エコー・運動負荷		深堀 正美		吉田 尚広	
		救急担当	吉田/山本	伊藤/酒井(宮崎)	深堀/時任	今西/酒井	近藤/北川
		B S	伊藤・時任				伊藤・時任
		C S		消化器内科医師	消化器内科医師	消化器内科医師	
		心カテ		深堀・吉田		深堀・吉田	
後	特定健診	深堀 正美	福岡/伊藤	今西/上条			
	その他		カンファランス (17:00~2階講義室)		物忘れ外来：院長・延末・永田 (14:00~15:30)		
	診療応援 三井楽診療所 (第2・第4水曜日)						
	特殊外来 脳神経内科 (第1火曜日・第2水曜日・第4水曜日) 油 症 外 来 (第2・4金曜日午前 診療場所：皮膚科)						
整形外科	午 前	新生児検診			糸瀬 賢		
		1 診(旧 患)	糸瀬 賢	糸瀬 賢	志田 崇之	池永 仁	志田 崇之
		2 診(新 患)	志田 崇之	池永 仁	糸瀬 賢	志田 崇之	糸瀬(第1・3) 池永(第2・4・5)
		3 診(包交・処置)	池永(9:00~)	志田 崇之	池永 仁	糸瀬 賢	池永(第1・3) 糸瀬(第2・4・5)
		病 棟	池永 仁	志田 崇之	池永 仁	糸瀬 賢	池永(第1・3・5) 糸瀬(第2・4)
		午 後	手 術	手 術	手術・回診	手 術	手 術
	特殊外来		乳児検診(1・3・5) 池永				
外科	午 前	外 来	橋本 敏章	虎島 泰洋	橋本 敏章	北島 正親	橋本 敏章
		病 棟		北島 正親	北島・虎島	手 術	
		エ コ ー	北島 正親				虎島 泰洋
		内 視 鏡	虎島 泰洋				
		透 視		橋本・北島			
		特殊外来	手 術	手 術	回 診	手 術	手 術
	特殊外来	乳 腺 外 来				乳 腺 外 来	
肛門外来(第4)							
産婦人科	外 来	布施 正樹	布施 正樹	小屋松 加奈子	木村 いぶき	布施 正樹	
	病 棟	木村・小屋松	木村・小屋松	布施 正樹	布施 正樹	木村・小屋松	
精神科	旧 患	1 診(8:30~)	冠地 信和	小田 孝	田山 達之	冠地 信和	小田 孝
		2 診(9:30~)	田山 達之	冠地 信和	小田 孝		
	新患・病棟		小田 孝	田山 達之	冠地 信和	田山 達之	冠地 信和
	診療応援						奈留(第1・3) 田山 達之
小児科	外 来	小屋松淳・応援医師	小屋松淳・応援医師	小屋松淳・応援医師	小屋松淳・応援医師	小屋松淳・応援医師	小屋松淳・応援医師
	特殊外来	予 防 接 種 外 来 アレルギー・外 来 神 経 外 来 心 療 発 達 外 来 心 臓 外 来 (毎週水曜日午後) (第1金曜日) (第2火曜日) (第2木・金曜日) (第4木曜日)					
眼科	外 来	植木 亮太郎	植木 亮太郎	植木 亮太郎	植木 亮太郎	植木 亮太郎	
耳鼻科	外 来			応援医師 (診療開始9時半)	応援医師		
泌尿器	外 来 (新患受付時間：~10:30)	安田 拓司		安田 拓司	安田 拓司	安田 拓司	
	診療応援		第3 奈留病院				
放射線	C T 読影等	長置 健司 千早 啓介	長置 健司 千早 啓介	長置 健司 千早 啓介	長置 健司 千早 啓介	長置 健司 千早 啓介	
	診療応援						第3 上五島病院
皮膚科	外 来		大学医師				
	特殊外来	油 症 外 来	(第1水曜日の午後)				
脳外科	外 来					長崎医療センター 医師(第1・第3・第5) 郡家医師(第2・第4)	